

彦根市立病院



彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

患者さんのその後を見据えた
質の高い医療を目指して

ICU・CCU責任医師

ふるの まさえ
古野 雅恵



当院のICU・CCU(6床)は湖東地域唯一の集中治療室として、心疾患症例や多臓器不全、脳卒中、敗血症、DICなどの重症患者治療や高侵襲手術の周術期管理などを診療科の枠組みを超えた連携のもと24時間体制で行っています。

さて、集中治療後症候群(PICS:post intensive care syndrome、以下PICS)という言葉をご存知でしょうか?PICSとはICU在室中あるいは退室後、さらには退院後に生じる身体障害・認知機能・精神の障害で、患者さんの長期予後のみならずご家族の精神にも影響を及ぼすとされており、いかにPICSを予防していくかが近年の集中治療医学の重要課題になりつつあります。皆さんは、集中治療室で治療を受ける患者さんは、ベッドでじっと安静に寝ている

というイメージをお持ちでないですか?。鎮静、せん妄、不動化はPICSのリスクとされています。毎日の覚醒リズムを整え、ICUでの環境を日常生活に近づけ、人工呼吸器装着患者さんを含め集中治療室で治療を受ける患者さんは、早期からリハビリテーションを行うことが重要です。

当院ICU・CCUも、治療と並行してPICS予防に積極的に取り組んでいます。毎朝多職種カンファレンスを実施し、主治医・看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・臨床工学技士で各患者さんについてディスカッションを行っています。患者さんの病状が改善してICU・CCUを退室・退院した後に再び元の生活に戻れるように、回復後まで見据えた質の高い医療を提供できるよう日々努力しています。

彦根市立病院 地域医療連携室

業務時間: 月～金曜日: 午前8時30分～午後7時(但し木曜日は午後5時15分) 土曜日: 午前9時～午後12時30分
連絡先: 地域医療連携室 TEL0749-22-6053(直通) FAX: 0749-22-6093

PICS（集中治療後症候群）について 予防ケアの取り組みをご紹介します

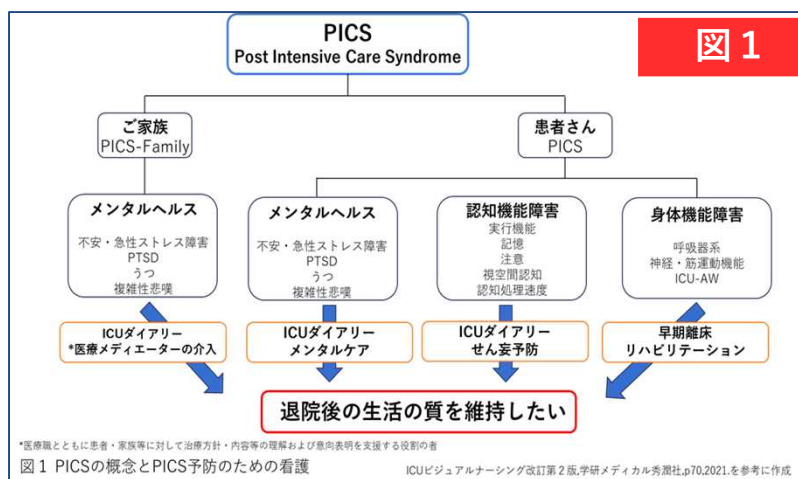
7
2024

私たちICU・CCUの看護師は、集中治療が優先される中、患者さんの回復や今後の生活についてイメージしながら、患者さんやご家族への看護を実践しています。近年は、危機的状況にある患者さんの長期予後を見据えたケアのあり方が問われています。生命を救うことに加え、患者さんができるだけ自立して生活の質を維持し、その人らしく生活できるような状態まで回復を支援することが、私たちの役割だと感じています。

その質を問う概念として、PICS“ピックス”（集中治療後症候群）があります。PICSはICUに入院中、あるいは一般病棟へ退室後、その先の退院後に生じる認知機能や身体機能、メンタルヘルスの障害であり、それらへの予防と早期介入が重要です。

（図1）アメリカでは、集中治療室で治療を受ける患者の50~70%がPICSを発症すると報告されており、近年、日本の集中治療領域でもPICS予防への取り組みが注目され、課題となっています。

PICS予防への介入の一例として、早期離床リハビリテーションと、ICUダイアリーについて紹介します。



医療の発展とともに、重症患者さんへの治療法や全身管理は進歩し、救命率は向上しています。一方で重症患者さんは、ICU入室中から退室後に運動機能が低下するICU-AW(Intensive Care Unit Acquired Weakness)に陥ることが問題視されています。ICU-AWは、重症患者さんがICUに入室した後に、急性の左右対称性の四肢筋力低下を呈する症候群をいい、PICSの中の1つに位置づけられています。そこで、ICUへ入室した時点から、リハビリテーションを開始し、身体機能の維持、改善、再獲得への介入ができるよう、当院ICU独自の早期離床リハビリテーションプロトコルを導入しています。ICUでは、医療機器を用いて治療をしている患者さんも多く、医師、臨床工学技士、理学療法士など多職種が連携してリハビリテーションを展開しています。



みんなをつなぐ

ICUダイアリー

彦根市立病院のICU（集中治療室）では患者さんの治療経過や写真を日記に残しています。



集中治療を受ける患者さんの中には、ICUで過ごした記憶がない・不明瞭という方がいらっしゃいます。ICU退室後や退院後にICUダイアリーを読み返すことで欠落した記憶をうめられるよう取り組みを開始しました。

また、ご家族の多くは、ICUに入室した際に混乱し説明を十分に理解できない精神状態の場合が多く見受けられます。そのため、ICUダイアリーで治療状況を把握し、応援メッセージやその時々々の想いを綴ることでご家族の気持ちの整理に役立てて頂くようお願ひしています。

2A病棟 ICU・CCU



ICUでは病気や怪我で重篤な状態の患者さんに対して、少しでも早く回復され、その方らしい生活取り戻してもらうための援助を行っています。



また、メンタルヘルスへの介入として、「ICUダイアリー」を導入しています。ICUダイアリーは、ICUに入室した患者さんの療養記録や家族からのメッセージをダイアリー（日記）に記す取り組みです。ICUダイアリーは、欧州では普及していますが、国内の病院ではまだ珍しく、鎮静剤などの影響で抜け落ちた記憶を取り戻し、回復意欲を高めるなどの効果が期待できるといわれています。重症患者さんやご家族にICUダイアリーの作成を提案後、承諾の得られた方へ作成し、患者さんだけでなく、ご家族にも共有し、感謝の言葉をいただく機会も増えてきています。また、医療メディエーターと協働し、急な病気や怪我で精神的にダメージを受けているご家族へ、治療方針の理解度の確認や意向表明への支援、退院を見据えての様々な情報提供を行い、不安の軽減に努めています。

2024年〇月〇日(月)

A様

ICU入室5日目



手浴・足浴をしました！

今日はお部屋移動ができました★
そのあとに手浴と足浴をしました！
食欲も出てきて、少しずつご飯も食べられるようになりました!!
Aさんの笑顔とっても素敵です^^

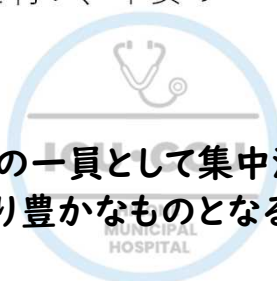
写真2 ICUダイアリー

彦根市立病院ICU・CCU

この度は、心身共に厳しい状態を乗り越えICUを退室できたことICUスタッフ一同心より嬉しく思います。
このICUダイアリーで少しでも記憶の整理ができ、回復に向かわれることをお祈りいたします。

彦根市立病院ICU・CCUスタッフ一同

ICU看護師はチームの一員として集中治療に関わり、ICU退室後や退院後の患者さんの生活がより豊かなものとなるよう、看護ケアを実践しています。

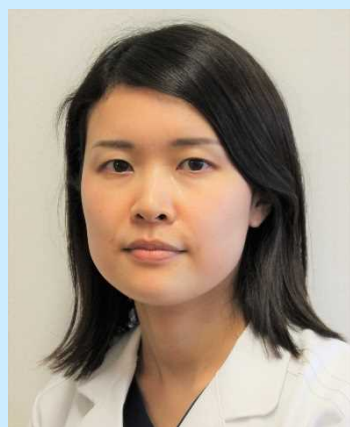


New Face! 新任医師紹介



このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願いいたします。

①大学卒業年②出身大学③所属学会④出身地⑤自己PR⑥地域の先生方へ一言



形成外科

たじま はるか
田嶋 晴夏

- ① 2019年
- ② 京都府立医科大学
- ③ 日本形成外科学会
日本創傷外科学会
- ④ 大阪府
- ⑤ 微力ながらお役に立てるよう努めます
- ⑥ 地域医療へ貢献できるよう頑張ります
のでよろしくお願いいたします



皮膚科

ながた たくや
永田 卓也

- ① 2021年
- ② 福岡大学
- ③ 日本皮膚科学会
- ④ 兵庫県
- ⑤ 積極性がある
- ⑥ 彦根は初めての土地ですが
地域医療に貢献できるよう
努めていきたいと思います



泌尿器科

まえだ ななか
前田 菜々花

- ① 2021年
- ② 滋賀医科大学
- ③ 日本泌尿器科学会
- ④ 滋賀県
- ⑤ 丁寧な診療を心掛けます
- ⑥ 先生方のお役に立てるよう頑張っ
て参ります。特に女性の患者さんで
お困り事等ありましたらお気軽に
ご相談ください



形成外科

わたなべ あやみ
渡邊 彩実

- ① 2022年
- ② 関西医科大学
- ③ 日本形成外科学科
- ④ 大阪府
- ⑤ フレッシュな形成外科1年目です
- ⑥ よろしくよろしくお願いいたします